

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 26 日

仕 事 の 内 容	桜が丘図書館の運営			
担当部署・課長名	中央図書館	課	桜が丘図書館	係 課長名 當摩 弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 2	-
【施策名】 生涯学習の充実	総合計画書 (ページ)	35	

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	図書館費	事業 3	桜が丘図書館事業費
-----	------	-----	-----	-------	-----	------	------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	市の人口(4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・知的好奇心が刺激され、教養が育成される。 ・読書により生活を楽しめる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ア. 蔵書冊数 イ. おはなし会参加者数 ウ. 貸出冊数 →
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
ア. 新刊書、リクエスト等があった本を購入した。 イ. レファレンス(資料案内) ウ. おはなし会 エ. 図書展示	ア. 図書購入冊数 イ. レファレンス件数 ウ. おはなし会開催回数 エ. 図書展開催回数 →	

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337	/
	成果指標	②の数値	冊 人 冊	ア. 52,814 イ. 916 ウ. 116,695	ア. 52,110 イ. 985 ウ. 117,592	ア. 52,341 イ. 840 ウ. 118,306	/
	目 標	②の目標値					
	目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値		ア. 2,458 イ. 3,129 ウ. 40 エ. 35	ア. 2,612 イ. 3,675 ウ. 39 エ. 45	ア. 2,473 イ. 3,582 ウ. 43 エ. 44	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	6,967,851	7,053,006	6,764,342	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	4,497,425	4,988,774	4,324,611	
		特定財源	円	2,470,426	2,064,232	2,439,731	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	16,488,000	16,488,000	16,488,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	23,455,851	23,541,006	23,252,342		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	平成5年7月 桜が丘図書館開館。市の南西部における図書館活動の拠点として事業を開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	桜が丘及び近隣の立野、上北台地区に大規模マンション・住宅の建設が行われ人口が増加した。また、立川市、東村山市及び武蔵村山市の住民に対して、相互利用協定に基づきサービスを開始した。

仕 事 の 内 容	桜が丘図書館の運営			
担当部署・課長名	中央図書館	課	桜が丘図書館	係 課長名 當摩 弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 地区図書館の開館日・開館時間等の増について、直営のままでの運営が可能か勤務体制（シフト表）の見直しの検討をする とともに、定期休館日（毎週火曜日）に行っている選書会議及び職員会議の日程が変更できるか試行を行った。			
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
6 市民協働	取り組んだ	取組手法	⑧ボランティアの方に、おはなし会での本の読み聞かせ等を引き続き依頼した。 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 引き続き協力依頼をするとともに、職員のスキルアップを図る必要がある。			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 ①多様化する利用者のニーズに合わせた蔵書構成にするとともに、職員のより一層の技術向上が必要 ②おはなし会等イベントの参加者を増やすために、PRを充実させる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ①職場内外での研修受講により、技術の向上を図った。 ②図書の購入とあわせて、書架の更新（図書の引抜き）を積極的に行った。 ③おはなし会の開催により、子どもと本の触れ合う機会をつくった。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ①多様化する利用者のニーズに合わせた蔵書構成にするとともに、職員のより一層の技術向上が必要 ②おはなし会等イベントの参加者を増やすために、PRを充実させる。			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ①利用者のリクエストに応えつつ、新刊案内などに注意し情報収集に努める。 ②おはなし会などの催しや、新たな視点でのイベント開催も検討し、本の魅力を伝えていきたい。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ①窓口（カウンター業務）やおはなし会等の催しでの利用者とのふれあいが大切である。そうした時間を大切にするとともに、事業のPRを積極的に行っていく。 ②展示コーナー等を有効に使い、新着図書を含めた図書の紹介をしていく。 ③図書に関する専門的な知識の向上が重要であり、職場内外での研修を受講することが長期的な視点で考えると効果がある。 ④蔵書スペースの拡大については、施設の改修等が必要であり、困難である。 ⑤中央図書館、清原図書館と合わせて東大和市立図書館なので、さまざまな情報を今後も共有して運営に当たる。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。